

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-28))」

2. 日時:令和5年2月27日(月)10時00分~12時00分

3. 場所:原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付副部長(設工認)他11名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ

グループマネージャー 他1名

中国電力株式会社 電源事業本部 原子燃料サイクル 担当副長 他1名

日本原子力発電株式会社 発電管理室 炉心・燃料サイクルグループ 主任

三菱重工業株式会社 原子力セグメント 機器設計部

プラント設計課 主任

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「類型資料の関係整理」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可

申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 令和5年2月17日

「日本原燃（株）再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、規制庁志水です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:06	と音叉ヒアリングは電話4年12月26日に申請が設工認申請についてヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:15	山崎規制庁側の出席者を紹介します。
0:00:19	本庁会議室からタジリタカナシフジワラハバサキシミズ。
0:00:25	とそのパネルからコサクカミデオオオカオオハシ竹田キシノセトガワ。
0:00:33	以上になりますとそれは日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割について説明の上と、本日の説明項目について、ご説明をお願いします。
0:00:47	はい。日本原燃事務局中川でございます。
0:00:51	原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:55	まず事務局より、
0:00:57	タカハシイシハラ。
0:01:00	セガワ。
0:01:01	フジノ、中。
0:01:04	中浜。
0:01:05	本日まで確認いただきます。内容にごとに参加者ご説明いたしますけれどもまずスケジュール関係、先ほど申し上げた事務局より、フジノ、
0:01:16	S A 関係で、ホリグチ、
0:01:20	阿藤、
0:01:21	最後の方の、共通中にですね、ヒアリングの案件でございますけれども、共通住民の取りまとめでシミズ、
0:01:30	外注関係で取りまとめでエビナ、竜巻防護設備関係で、サカモリハラダがタナカ、そして三菱重工様より、高木様。
0:01:43	以上3ヶ所となります。
0:01:45	それではスケジュール関係につきましてから、ご説明を差し上げます。
0:01:50	日本原燃の藤尾です。スケジュール関係なんです先週金曜日ちょっとお話ししました通り金曜日の時点で集約かけてあといなかったメンバーもいたので、今午前中かけて次回会合で何するか、それから進学指導するんだっていうスケジュール取りまとめますので、

0:02:08	本日の夕方資料の提出をしたいと思っています。それから竜巻関係も共通12ヶ月ですね、これからヒアリングやりますので、そういったところもちょっと踏まえて、スケジュールに反映して、本日の午後提出して明日の朝ですね、ご議論できればいいかなと思っていました。
0:02:24	定例の関係は以上になります。
0:02:28	はい。
0:02:29	吉見です。スケジュール関係について、町場から何か確認ありますでしょうか。
0:02:37	規制庁土肥です。スケジュールっていうのはいつも幾つなんか3の何か細かい表のやつで言ってくるイメージ
0:02:45	日本ゲームプレスいつものA3の細かい、全部の補足が載ってるやつだけだと、ちょっと見にくい部分もありましたので、それを抜粋したのも1枚ものでちょっと準備しつつその二つで、資料を提示したいと考えてました。
0:02:59	ちょっとです。いずれにせよ、出てる部分が出るものが出てくるということで理解しました。
0:03:07	吉水ほか、規制庁が岡田式じる関係で確認ございますでしょうか。
0:03:15	よろしければ続いて、健全側は次の項目について説明をお願いします。
0:03:28	日本原燃のホリグチですスケジュールに関して成分を説明いたします。
0:03:34	今、
0:03:36	ちょっとすいません。
0:03:47	すいません日本原燃の堀口です。
0:03:51	償還関係で、
0:03:55	10、17として相関図に関する部分に関して、相関図を明日提出させていただきますましてそれで、蒸発乾固を例にした部分に関して朝、
0:04:05	明後日または明後日の時に、ご確認をいただきたいなと考えております。その部分についての、観光のコメント反映版そして観光のコメントと水素と水供給に関するコメント反映版として別紙四、五、
0:04:22	来週提出します。
0:04:24	そして、
0:04:27	実行分のT B P委員会。
0:04:30	フール

0:04:31	のものと、あと放出抑制通信に関して、再来週、あとそれ以外の条文に関して3月の末に1度、この別紙1から6の部分を提出したいと考えております。
0:04:44	並行しまして今日の共通12の
0:04:47	話もありますがそれを踏まえ五つ中47の相関関係として、SAと竜巻を並べたものを、
0:04:57	今週末にヒアリングをさせていただけたらと考えておりますまた、今週末、目標2の溢水関係の、
0:05:08	相関を出しまして来週ヒアリングをさせていただきたいと考えております。
0:05:13	エッセー関係上になります。
0:05:16	清長市民ですただいまの説明について規制庁側から確認ございますでしょうか。規制庁の藤原です。まず、今日明日の話がちょっと理解できなかったんですけど、今日、
0:05:29	何か出てくるんだっけ。すいません、明日でしたっけ。
0:05:34	音源のホリグチ明日、10時半の間この相関図の改訂版を出させていただきます。
0:05:41	規制庁のフジワラですねと相関図だけなんでしたっけ。4代表出てこないでしたっけ。
0:05:45	すいません1相関図4代表になります。
0:05:49	規制庁の藤丸ですわかりまして、まず、今回24日に提出された部分をざっと見たんですが、考え方の、5ページ6ページ辺りを見てみると、
0:05:59	こちらがヒアリングでお伝えしてきたところと認識がずれているなと思っていて、それが明日とかの提出版にかなり影響するんじゃないかと思うのでお伝えさせていただくと。
0:06:12	特に細かくはやりとりする気はないんですけど、5ページ6ページのところで、各説明書等、現体制の説明書の記載内容、
0:06:23	考え方が書かれていて、建設のところと同左って書かれているのが何ヶ所かあると。
0:06:28	で、同左ってあると思ってなくてこちらは、
0:06:32	それぞれの説明書に書くべき内容があって、こういった視点を持って、こういった説明するのかみたいところが書かれてくるものだと思ってました。同じ内容を書くとも思っていませんでしたし、その点で、

0:06:46	認識、どういう認識なのかっていうのをお聞きしたいというのも、どうしたらいいと思ってたってことなんですかね。
0:06:52	同じ内容を記載すればいいと思ってたということなのか。
0:06:56	いつも通りというか書きたい内容が書けてなかったってことなのかどっちなのか、簡単に教えていただけますか。
0:07:09	日本原燃の瀬川です。
0:07:12	ですね、この動作たるは
0:07:16	そのままです。読んでいただいた通りで藤原さんの全社の認識でとりあえず資料まとめました。
0:07:25	表の上のところにちょっと理由を書いたつもりではいたんですが、
0:07:31	こここういう整理をしたちょっと考え方を述べさせていただきますと、
0:07:34	個別設備説明書、ここは系統設計を具体化スルー説明書になりますけれども、その前、前提となる多様性位置的分散等の条件というのは、系統設計のそもそものインプットになりますので、
0:07:50	本当はここですべてその配慮事項というのを述べ切らなきゃいけないという整理をしました。
0:07:57	そうするとですね、
0:07:59	もう健全性説明書側に行った時には、伸び切った内容以上のものが展開されると。
0:08:06	いうものはないだろうということで動作という書き方をしてます。
0:08:11	これは多様性知的分散を例にちょっとお話しますと、
0:08:15	大体安全冷却水系の場合は、石油設備の安全冷却水系に対して、すいませんコサクです。
0:08:24	はい。瀬川さんすいません。
0:08:27	今は内容のヒアリングをする場では、
0:08:31	ないので、それは改めてやっていただければいいんですけど、
0:08:35	今の説明からすると、健全性説明書は動作ではなくて、必要な部分を抜き出して、健全性に必要なことだけを書く。
0:08:45	それ以外はもうもともとの個別設備説明書に書いてあると。
0:08:50	ということでないとおかしいと思うんですよ。健全性説明書に必要なのない、
0:08:55	ことまで、書くということになっちゃうので、
0:08:58	その点はどうですか。

0:09:02	はい。日本原燃の瀬川です。
0:09:06	コサクさんの趣旨というのはちょっと理解はできたつもりです。記載レベルが縮小するというかですね、そういう方向の整理もあるんじゃないかというのは、
0:09:19	社内でもちょっと議論をされたところでした。ですので認識としてはそういう認識もあったと。ただ今回は同じ
0:09:28	グレードを下げるっていうよりは、同じものでもいいからもう書き切っちゃおうという整理をしたというのが今回の整理でございました。以上です。
0:09:37	はい、古作です
0:09:40	どうせ考えることを嫌がる原燃さんはそういうことをやらかすんだろかなと想像してましたけど、案の定だなと思ってます。そんな書類を出されたのでは我々の確認時間が膨大になって、審査に時間がかかるということでもよろしいですか。
0:09:58	亀井能勢が、そういったところは求めてる部分ではございませんので、
0:10:04	砂防触ったつもりはないんですがもう一度しっかり考えたいと思います。
0:10:10	はい、古作ですさぼったつもりじゃないと言いつつ、
0:10:15	言いづらそうなことをして、表現をされてるということは、
0:10:20	そういうことだよなというのを認識されてると理解をしています。しっかりとですね、どの書類に何を書くべきなのかと、交換してるからいいじゃないかと、漏れはありませんよっていう態度はですね。
0:10:33	非常にコミュニケーションを悪くしますので、しっかりと考えていただきたいと思います。
0:10:44	そうですね。
0:10:47	ええ。
0:10:49	藤。
0:10:51	二本木の石田でございます。若干すいません。
0:10:56	今のセガワの説明になってしまった理由はですね私が思うに個別の説明書設備の説明を受けてる人が、設備の細かい、それが受けるべき内容を書いてない結果、
0:11:08	同じことを書く羽目になってると思ってまして、個別の設備の説明書ってのは当然系統だったり設備をターゲットにして説明を書くので、その

	系統構成だったり個別の設備の構造を踏まえた上で、悪影響防止だったり試験検査だったり、
0:11:23	操作性であったりということをしっかり図も含めて説明をしていると。
0:11:28	ということ。
0:11:29	健全性説明書の系統説明のところでは、上の部分の共通的な考えを踏まえて、こういうことで設計をしてますということを言えれば、健全性としての浅部は用が足りると。
0:11:41	ということだと思ってますのでそういう整理をちゃんとしないといけないかなと思ってました。以上です。
0:11:48	はいコサクです。
0:11:50	そうですねそういったところの状況はまた明日提出されるものを踏まえたヒアリングで、
0:11:58	できればいいかなと思うんですけど。
0:12:03	等、
0:12:06	一方でその
0:12:07	個別設備説明書で書き切るんだと言っても、
0:12:12	書き切れるわけがなくて、
0:12:16	竜巻の有井一穂なり、
0:12:20	D Bと統合させるんだと言ってる部分は、どこまで本当に書き切れるのかなというのがちょっと心配でして。
0:12:29	そういったところは健全性説明書のところで末子を変えていくということからすると、
0:12:36	本当かなっていう気がしています。それと、
0:12:43	で、
0:12:44	それはどこになるんですかね、環境条件なのか悪影響防止なのか。
0:12:51	位置的分散とかなのか。
0:12:53	どこの関係と思って今整理されてるんでしょう。
0:12:56	はい。日本原燃の瀬川です環境条件に関連するものというふうに整理してございました。以上です。
0:13:06	はい。補足です。そうであれば、環境条件を書ききれてないから、それぞれで違うことが書いてあるのかもしれませんが、
0:13:16	これも内部流体については個別設備説明書の方で書くだと言ってるやつが欠けてませんし、

0:13:24	ちょっと相変わらずちょ。
0:13:26	使い分けっていうのが明確になってないかなというふうに思いますからその点を整理して、明日の提出ヒアリングというのを
0:13:36	で、何を確定しなきゃいけないのかというのを意識をして対応いただければと思います。
0:13:42	以上です。
0:13:44	日本原電の瀬川翔輝いたしました。
0:13:51	規制庁の藤原です。
0:13:52	あと、点が1点と今回24日に提出されている立間キーの部分なんですけども、
0:14:00	そもそもこの並びを見てると、添付書類の親テプコ添付って話が、前回どっかのヒアリング、先週ですかね、ヒアリングなんかでも、
0:14:11	ちょっと話が出ていたとっていてこの構成がそもそもいいのかどうか、なぜこういう構成にしたのかみたいな話があったような気がしていて、それを踏まえてというよりはもう、今のまま尽きてる気がするんですけど、その辺の検討状況ってどういう感じなんだ。
0:14:30	日本原燃の堀内さんの別添3の部分ですけれども、DB側と直接対比するものを回避できるものとしては、
0:14:40	ここ添付側で基本設計方針から健全性の説明書に流れてその健全性説明書の細かい部分、
0:14:48	各ハザードに関するブルーは、
0:14:51	健全性説明書のほ添付となる部分に書かれていてそこを、Dがすいませんコサクです。
0:15:00	コメントの趣旨がわかってないようなので、
0:15:03	ちょっと1回切らせていただきますけど、小店舗側でとかって言ってること自体がよくわからなくて、親店舗なんてそんなものはあるはずではなかったんだけど、
0:15:13	何で登場してるんですかっていうことで、
0:15:16	石原さんに聞いて、書類の構成の考え、改めて確認の上説明してくださいと言った部分を説明してください。
0:15:45	少々お待ちください。
0:16:25	評議員者でございますすみません私もキャッチアップできてませんでした。関連今ちょっと見た限りは、

0:16:31	親子と言いながら全然比較の表にもなってないので、
0:16:36	ちょっと考え方も含めて、今まで言ってきたことと整合も含めて再度整理をして、お話ができるさせていただきます。
0:16:46	はい。補足です。そうすると前回ヒアリングで明示的に私から石原さんに確認してくださいって言ったことを、石原さんに伝えてなかったということだと思うんですけどホリグチさんいかがですか。
0:17:03	伴辨野ホリグチです。
0:17:06	うん。
0:17:12	うん。
0:17:14	そうなりますはい申し訳ありません。早急に確認しますはい。
0:17:19	古作です。
0:17:21	そういう厳格にしますっていうか、
0:17:24	ヒアリングでそういうふうに言われたときにわからないなら聞き返しましょうよ、或いはその同席されているセガワさんなり何なりにどういうことかなと話をして、
0:17:34	認識をして、振り返りをしないと。
0:17:38	無駄になりますよ。
0:17:39	はい、わかりました。そうです。はい。
0:17:42	申し訳ありません。
0:17:44	はい、古作ですよろしくお願ひしますで、何がよくわかんないかっていうと、もう2年間さんざん言い続けてますけど、
0:17:53	枝番が123シートついている図書枝番なしのもので、一色加来なんていうことになると、
0:18:03	どこの書類の何が書いてあるかわかりにくくなるので枝番付きの添付については元につい、元の添付っていうその枝番なしの部分に書き込むのではなくて、
0:18:14	枝番1に骨格となるものを書いて、ぶら下げていきましょうねと言って話をして、
0:18:22	合意していたはずと思ってたんですけどイシハラさんそういうことってよかったですよね。
0:18:29	はい。そうですね。

0:18:32	ネットワーク枝番なしのやつが高額で行った上で、その下に枝番つきのやつがそれぞれが下がるということで、整理をしたと私も伺っておりますのでそこを含めて、
0:18:46	全体整理をさせていただきます。今回の場合は、どこが親になってどこが骨格だっているのと含めて子供と親の関係で枝番の使い方をどうするかということだと思いますので今までの整理で、
0:19:00	に合わせて、もう一度、関係者で共通認識をしたいと思います。以上です。
0:19:06	はい。補足です。今の石原さんの表現も多分、
0:19:10	私と同一ではなくて、
0:19:13	原燃作業者の認識の間ぐらいにいてそれによって勘違いをされてるのかな、私の認識が合わないという状態になっているのかなと思うんですけど。
0:19:24	現状であれバー。
0:19:28	十時 17 の A 棟、
0:19:32	ところで示されている枝番なしの右から 2 番目の枠ってというのは、もう枝番市の当初になってていいはずと。
0:19:41	そうすると、
0:19:43	段数が 1 段減ってってということになるんじゃないのかなというふうには思うんですけど。
0:19:48	段数をふやしたいんだっていうならそういう説明をしてもらえばいいと思います、その辺りも、1 度これまで、
0:19:57	その書類構成としての話がどうですか、読めてもらえば、その辺りも話がどうであったかというのを振り返っていただきつつ、次のヒアリングで具体的できればなと思います。よろしくお願ひします。ありがとうございます。失礼しました。
0:20:17	切り開いて、
0:20:19	す。
0:20:25	あ、コサクですけど、藤原さん、今のうちに、明日提出に向けての作業としてこういうのをやっていく。
0:20:33	そのほかありませんか。並びが良くないとか、何か言いたいことがあれば、規制庁の藤原です。
0:20:41	衛藤。

0:20:42	特に大丈夫です今回、相関図も、
0:20:46	今回の決算では直されてませんし、なのでそういったところも一式綺麗になってくると思ってますし、あとは11ページとかに入れられたのはむしろわかりやすくいいのかなと思っているので、特に、
0:20:58	今お伝えしている分ぐらいで大丈夫です。
0:21:06	規制庁の藤林多田念のために確認したいんですけど、今回、今話してる内容を踏まえて、明日提出できますかっていうのがちょっと心配なんですけど、どうなんですかね。
0:21:23	すいませんこれは日本原燃に確認してます。
0:21:32	はい。規制庁渡ですけど、原燃音は聞こえてますか。
0:21:37	すいませんすごくあの今混線していて、フジワラさんのあの発言が、2度3度ちょっとあの流れたものでちょっと黙ってました。
0:21:46	えーとですね。
0:21:48	ちょっと明日っていうのいう面いいところがあるかなと思ってます。はい。
0:21:54	はい。
0:21:58	規制庁の藤原です。乗っかりました。ですね。
0:22:05	あと明日っていう、
0:22:07	それはいいところがあるかなと思ってます。はい。規制庁の館です。こっちも昆選手何度か今聞いててすいませんちょっと黙ってましたけどちょっと明日厳しいものがあるっていうところで切れたのかそれで終わったのかがわかんなかったんですけど、厳しいものがあるの鈴木って何かありました。
0:22:25	e n i s h 日本原電の瀬川です厳しいですというところで止まってました。はい。
0:22:32	店長の藤丸です。そしたら、いつぐらいに提出できるのかって言ったところも含めてで、
0:22:39	明日の朝会とかで聞けますか。
0:22:45	はい。日本原燃のセガワですお答えできるように準備いたします。
0:22:48	規制庁の藤村ですよろしくお願ひします。
0:22:51	規制庁のタジリなんですけど、最初のスケジュールを話された時に少しあったんですけど今週末に竜巻と10Gとかのやつの比較の話がされたん

	ですけど、あれって生き残ってますかまだ今の議論で消えるのかいや何か比較表は見てるんですけど、
0:23:05	何かこう修正する予定ですぐらいの内容がバーッと並んでた李左側のところも何比較してるかわかりづらいなと思いながら見てはいたんですけどあれって、結局今週末から動かないのかそれとも明日次第でまた僕なんか出るどっちですかね。
0:23:23	日本原燃の瀬川です少しまた再提出に向けて少し時間いただくことになれば、今回十時 10 名に出した比較表が、
0:23:33	全然今後の作業方針にもなってないのはちょっと見てとれてたので、そこもちょっと是正して、
0:23:39	行きたい、いいなと思っております。以上です。はい、規制庁とじ費やしたまた状況も確認できるものと認識したのでよろしくをお願いします。
0:23:52	はい。日本原電の須賀承知いたしました。すいません、コサクさん。1 点ちょっと私の理解のためにもう一度ちょっと、駄目出しをしていたいただきたいんですが、
0:24:05	十時 17-11 ページをちょっとご覧になっていただきたいんですけども、
0:24:13	先ほどの親店舗ところ添付の関係を、ここ少しちょっと線がたくさん入って見づらくなっちゃってるんですが、イメージしてる部分になります。
0:24:23	右上の方に、枝番なしの 4-2 の親添付って呼んでる健全性に関する説明書でその右端の方に、枝番 123 ということで来添付って呼んでるものたちを並べてます。
0:24:38	今、私どもの整理としては、おや添付 4-2 のですね、4 ポチ、(1) の環境条件、ここで、例えば竜巻に対して、
0:24:49	機能喪失しない設計としますと、というような上流の更新が記載されてます。
0:24:55	これを受ける形で、右側の方ちょっと矢印がたくさんふくそうしてて見づらくなってますけれども、
0:25:05	そっか、(1) の方針を受けて、荷重が伴うものについては(3)に展開してるんですね、竜巻と火山みたいなものは、(3)に具体的に荷重に対してどうするんだというような方針が述べられていて、

0:25:19	それを具体的に設計に、設計方針展開するために右側に飛ばしてですね。
0:25:25	2-1の竜巻に対する考慮の方針と、火山に2.4の火山というようなこんな受け渡し関係を整理しておいたわけなんですけれども、
0:25:36	ここの整理がやっぱり違う。
0:25:38	ということなんですか。
0:25:44	補足ですけど。
0:25:47	よくわからないんですが、
0:25:50	竜巻の考慮って、
0:25:53	荷重、
0:25:55	の影響だけでしたっけ。
0:26:04	本県のセガワです。えっとですね。
0:26:08	位置的分散で逃げる部分もありますね保管場所みたいなところはですね、可搬がたーについては、
0:26:18	大体元のデービーが設置され建屋と100メートル離して置いとくとか、そういった方針も含めて、
0:26:25	になりますはい。
0:26:27	荷重だけではないです。
0:26:30	姑息ですとすると、
0:26:33	今(3)の荷重の影響からしか竜巻は受けませんって言ってますけど、
0:26:39	本当にそれでいいのかっていう気がします。で、そもそもでいうと、私が言ってんのはそういう関係性の話ではなくて、そもそもここ分けるもんなのかと。
0:26:51	親店舗添付って何だよって話でしかなくて、
0:26:55	これ融合した一つの健全性説明書のパーツになるんじゃないのと。
0:27:01	いう。
0:27:02	ふうな完成イメージを持って話をしている、
0:27:06	変に分けるから面倒くさくなるんじゃないかっていうようなことを思っていたということです。
0:27:18	日本原燃の瀬川です今のコサクさんのイメージはわかったつもりとか、2-1に書いてある、こういう細かな設計方針竜巻に対する設計方針みたいなのが、しっかり
0:27:31	読んどくの、

0:27:32	にしっかりと書き込まれてある目が仕込まれているのが、あるべき姿じゃないかというご指摘ですねあ、ごめんなさい。じゃなくて、古作です。4-2 じゃなくて、
0:27:44	4-2 はもう枠でしかなくて、
0:27:49	健全性説明書は、枝番 123C でこういうふう構成します以上で、
0:27:55	五つの中に今書いてある 4-2 の全体がどんと入っていて、
0:28:00	まぜこぜにすると、いい感じで
0:28:04	基本設計方針というのの具体が書かれ、添付 2、
0:28:09	D B のほうの添付 2 も飛ばすことができると。
0:28:13	いう状態になれるんじゃないのかと思っています。
0:28:21	はい、柘植西浦でございます。おっしゃってることは趣旨を理解しましてすみません今作ってる形がですね、前田坂等の親子の関係は別として、
0:28:32	十時 01 っていう、個別補足で M O X を第 1 回出した時にこの関係図を何回かヒアリングさせていただいて、これっていうことで決めてたやつをもとに、最初にも展開をしてましたので、
0:28:47	そこも含めてもう一度整理をしないと駄目かなと思ってました。以上です。
0:28:55	はい、補足です。すいませんよろしくお願いします
0:28:58	ボックスの時にどういう話をしてこうなったかとかっていうこともあって、私の思いだけで、やらなきゃいけないということではないと思うんですけど、
0:29:11	どうするのが一番わかりやすいかと、あとは作業しやすいかということもあると思うんですが、
0:29:18	現状こうなってるんでとかっていうのは説明から外していただいてですね。
0:29:25	一番いい形っていうところでの検討をしていただければと思います。よろしくお願いします。はい。宮城西田でございますはい。おっしゃっていただいた通りその添付書類であつたりの書類の、んな目的に、
0:29:40	合致した中身がなかったら意味がないので、これはどういうことをしゃべっものを語る添付書類なのかのちゃんと立ち位置も決めた上で、それ全体の D B も含めた全体の構成の中でこういう整理をしましょうということのをちゃんと決めて、

0:29:54	書くべきことをそこへそれぞれ書いていくということだと思いますのでもう一度、整理をひもといて、組み立てたいと思います。以上です。
0:30:09	規制庁清水です。改正関係について規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:30:18	受注示す等よろしければ衛藤原燃側に確認ですが本日の社会での確認項目はこれで以上だったでしょうか。
0:30:31	荻野部長です。はい、以上になります。
0:30:36	いえ、あ、すみません、古作です。原燃から以上だとするとちょっと確認をしたいんですが、
0:30:46	金曜日 2、
0:30:50	朝話をされて
0:30:53	提出された資料が、その時に見たものと違う形になっていて、話をしたことを反映した形で出したっていうつもりなのかなと思うんですけど。
0:31:05	その認識でいいですか。
0:31:09	日本原燃のセガワですはい、そのような認識で結構です。
0:31:14	はい、古作です、その上でよくわかんないのはS Aについては、39 条を例にしてという形で、
0:31:25	構造の類型化は説明します、構造設計は説明はしませんが、共通順位を用いるのってこういう感じになって、
0:31:35	これはどういう意味ですか。
0:31:39	はい。日本原燃の瀬川です。
0:31:42	はい構造の類型が説明できてるっていうことは構造の説明もできてることと同義では、
0:31:49	あったんですけどもすみません真木記載漏れですね。はい。
0:31:56	はい。補足です。その上で、S Aについて 39 条だけでやって何か意味がありますかっていう気がしててですね。
0:32:05	ええ。
0:32:07	少なくとも前お話されたように、水素掃気S F Pぐらいは一緒にしてないと屋外の、
0:32:16	設備全般みたいなのがわからなくて、
0:32:20	何か、
0:32:21	余計混乱するような気がするんですけどどうなんですかね。

0:32:25	はい日本原燃の瀬川ですちょっと目的としてたところが、ちょっと私若干視点がずれたかもしれません
0:32:33	S Aですと、構造だけに着目するのではなくてき機能的な観点での類型も必要でしょうというご指摘を受けていたと認識しています。
0:32:44	そのS A特有のその類型構造説明にあたっての類型の考え方っていうのを、早く審査会合の場で報告できたらなというので、
0:32:56	まず39条だけでも、基本設計方針固まればですね、その話ができるかなというので39というのを書かせていただきました。ただその先にいる本当の
0:33:05	中身の分の説明まで、念頭に置けばですねコサクさんがおっしゃる通りですね、中途半端にやってもあまり意味がないというのは認識しております以上です。
0:33:16	はい、蘇武です。
0:33:19	意味のある形でいうと、皆さんは最初に考えていたように、DB兼用になってるような内的事象での隣家T B Pのようなものは、
0:33:30	ベ 支店整理をする必要があると。
0:33:35	ということで、分けておいてそれ以外のS Aでの、
0:33:41	対応というものについての、登場人物一式を説明しますということにされた方がいいかなというふうに、作業としてはその方が合理的だというふうには思っ
0:33:53	てますので、ちょっとそこら辺で整理をいただければなと思いますし、それに、
0:33:59	おいてその1ポツっていうのが、何をしなきゃいけないのかっていうイメージが多分、
0:34:04	まだできてないからこういうこと言い始めるんじゃないのかなと思うんですけど、先ほど言われたったその十時17で添付書類どう変えてっていうのは1ポツじゃなくて、
0:34:16	また別次元の申請書の整備だと思ってるっていうことは認識いたします。
0:34:24	はい。日本原燃の瀬川です。そういった認識も持っておるんですが、いかんせんなかなか書類の体裁がしっかり整わないことに伴ってですね、中身もなかなかご説明できてないなといったところも、

0:34:38	あって、1 ポツに含めて整理して整理し、しがちになってるってのが実態でございます以上です。
0:34:47	はい。補足です。それが問題なん根本なんだと思うんです。
0:34:54	そこに引っ張られちゃってるのは何なのかなってのはよくわからなくて、
0:34:59	足りないことがあるとかっていうことじゃないはずなんで、
0:35:03	と。
0:35:04	表戻ると、共通 09 d、どの設備にどういう機能が必要でかはもう第 1 回で説明済みみたいところがあるわけですから、
0:35:14	そこを 1 ポツはそれで説明済みっていうのは会合では言いづらいかもしれないんですけど、
0:35:21	そのあたりを許可せ、
0:35:25	英語との関係からでざっと説明してっていうことで対応いただければいいと思いますから、
0:35:32	最低限 2-1 に繋がるだけの整理をすると。
0:35:36	いうことについて考えてもらった方がいいかなと。
0:35:39	思ってます。よろしくお願いします。
0:35:44	はい。日本原燃の末松はい。工夫いたします。
0:35:50	はい。
0:35:51	規制庁清水です。圧倒。
0:35:56	規制庁は泊でございますでしょうか。
0:36:04	言えば、人間がわからないといった A s a n o ヒアリングに関して等、振り返りの方をお願いします。
0:36:15	はい。日本原燃の堀口です。
0:36:20	健全性に関して
0:36:24	ちょっと、
0:36:32	ちょっと待ってください。
0:36:41	つってですね、今いろんな表になってる部分に関して、実環境条件じゃないか健全性説明書っていう、今は、
0:36:51	そこから
0:36:53	店舗って形で作ってましたが基本設計保証を受けて、器となる健全性そしてその具体が書かれているところとして数 S W A T 部隊が、

0:37:03	一体となって、DBとの比較っていうふうなことができるちょっとそこに関してはイシハラちょっと検討して確認をいたします。
0:37:11	あと十時0一井の部分もちょっともう一度ちょっと確認しながら、どうあるべきか、今後の説明としてもどうあるべきかというところを改めてちょっと考えて、
0:37:24	資料の5ページができるようにします。そして1017に関してそこをちょっと確認しながら、明日の朝さあ会で、この別紙資料の提出スケジュール修正版についてどういうふうにするかというところをご説明いたします。
0:37:40	簡単ですけど以上です。
0:37:45	吉見です。
0:37:49	院長がよろしければ、
0:37:52	共通、12のヒアリングに入りたいと思います。
0:37:58	あと原電側特に出席者の入れ替えとかはよろしかったでしょうか。
0:38:05	日本原燃の藤尾です。はい。関係者集まっておりますので、採用できます。
0:38:10	説明の方をお願いします。
0:38:15	はい。日本原燃清水です。
0:38:16	資料といたしましては令和5年2月11日に提出させていただきました共通12のレビジョン2の資料になります。
0:38:26	資料、現状今、資料の中で十分整理できてない点等ありますので、それについては、口頭であったり、一部ちょっと画面共有を使いながら、今我々が考えていることをご説明させていただきたいと思います。
0:38:42	資料まず3ページ目、一応1ポツということで概要の方、書いておりますけども、ここの中です、この後にですね2ポツ以降で、本来であれば、この資料のはどういった目的で作るものかっていうのをしっかり書き込む必要があると思ってます。
0:38:57	それがについてはちょっと今後、しっかり書き込んで出させていただきたいと思うんですが、まずはちょっと、今我々が考えていることを、画面教諭のちょっと資料を使いながらご説明させていただきたいと思います。
0:39:12	ちょっと画面興味をお願いします。
0:39:20	この資料をお願いします。

0:39:31	少々お待ちください。
0:39:47	規制庁の田尻です。準備9の次なんですけど今からその示される資料っていうのはどういう位置付けのものですかね。
0:39:55	はい。
0:39:55	今画面共有させていただこうと思っている資料の位置付けとしましては、最終的に共通12の中にですね、取りこんの一部としてお示したいというふうに考えているものでございます。
0:40:09	軽重という共通中の一部ですねわかりました。
0:40:13	はい。江藤。はい。画面出ましたのでちょっと説明を続けさせていただきます。
0:40:19	まずは申請対象設備につきまして、
0:40:23	AからBワンからB4に分類した後ですね、2-1、2-2ということで、構造の設備構造の説明であったり、評価方法の説明というのを今後やっていくんですけども、
0:40:35	本説明にあたってはですね、それぞれ構造の観点評価の観点で、類型化してご説明する必要があるというふうに考えていますので、
0:40:45	それぞれどういうどの資料でどういう役割を持って説明するのかっていうのをちょっと本資料でご説明させていただきたいと思ってます。
0:40:55	まずは入口としては申請対象設備リスト、これをベースに、まず類型AからB1からB4に類型化するという、その考え方と、累計した結果というものをですね、共通資料として、今13と書いておりますけども、
0:41:12	この資料の中で、分類した結果っていうのをしっかりまずお示しすると。
0:41:17	その上でまずは構造の観点での類型をどうやるんだっていうのを、共通12という、本日の資料の中で、そのうち、13から新設する設備控除する設備、
0:41:30	に対して、追加で構造のご説明をする説明する必要がありますので、類型化してご説明したいというふうに考えております。共通12の中ではですね、
0:41:42	新設する設備と工事する設備に対して、条文ごとにご説明するという方針でございますので、説明分類外部衝撃だったり火災だったりっていうこの条文ごとの分類ごとに、

0:41:54	インプットで入ってきた設備リストをAと分類しまして、対象設備をまず明らかにするとそれぞれの分類で説明する設備を、
0:42:03	その上で、設備の構造であったり、機能性能であったり、設計方針の類似性というのを考慮して、類型化の方をまずやると。
0:42:12	その上で、類型化した代表の設備に対して、要求事項であったり構造設計だったりっていうのをですね、しっかり整理して、構造概要図というのをういながら、設計のない構造概要の方をご説明したいと思ってます。で、
0:42:26	共通 12 ではですね、特に再処理施設特有の発電炉と異なる設計であったりっていうところ。
0:42:33	であったり代表設備との差分っていうのをしっかり明らかにして、資料の方でご説明したいというふうに考えております。
0:42:40	まずは共通 12 の目的としてはそういう位置付けで整理したいというふうに考えておまして、
0:42:47	共通中にその内容を整理して、具体的な個別
0:42:52	補足であったり各条 00 のところで具体を説明しますっていう、あて先増し湯引き渡し先っていうのも、共通住民の中で明確化した上で、
0:43:03	そのあとの、各条 00 別紙であったり個別の補足説明資料用いて具体な説明の方へさしていただきたいというふうに考えております。
0:43:12	一方で、評価の観点の類型につきましては、
0:43:16	共通 13 で評価対象と整理されたものに対しまして、
0:43:21	各条 00 で、または個別補足説明資料として、その評価の累計をするために必要なものをですね、この今、青字の
0:43:32	二つレジスタ 0 点で書いてありますけども、
0:43:35	評価に関わる類型に必要な情報っていうのをしっかり、そのリストの中で追加した上で、
0:43:43	そのリストを踏まえて、評価の類型の分類を整理して、具体の評価の内容の方代表を用いてご説明したいというふうに、まずは整理をさせていただきたいと、いうふうに考えております。
0:43:57	まずは一旦、このような形でそれぞれの資料の役割を持たせて、整理をしようということで一旦ちょっと御説明の方は区切らせていただきたいと思います。

0:44:07	規制庁の田尻です。上か何かよくわかんなかったんで上から順番に行きたいんですけど、設備リストは、第2回申請時直されたりいろいろあったりしましたけど第1回というか整理して設備リストがありまして、
0:44:20	共通、13ってどれを指すんでしたっけ、何かもらってましたっけごめんなんか僕がちょっと13って言われて、どれかわかんなくなってますけど。
0:44:28	日本原燃清水です。共通13についてはこれからお出ししたいというふうに考えている資料でございまして、
0:44:35	2月の会合で衛藤。
0:44:39	地震等外傷でつけていたようなものを別添で付けていたもの、これを、考え方も含めまして、共通13、共通資料としてお出ししたいというふうに考えております。
0:44:52	規制庁田尻です。
0:44:54	衛藤。
0:44:55	共通13において、AとBからB4とかのやつと工事の有無ってというのは何かこんな書かれた気がするんですけど。
0:45:02	その下にある条文前の
0:45:05	類型分類に整理結果っていうこれは何でしたっけ。
0:45:13	規制庁たですなんか所、流れがわからなくなっていて、共通事項、すいませんコサクです。
0:45:20	ちょっと頭の整理をしますね。
0:45:23	今言われた、前回会合で出した地震津波、地震、地盤地震と、竜巻といった時につけていたリストっていうのが、
0:45:36	この共通13の三つ目のレ点のものでと言われたということで、その前段にある考え方なり整理の考え方っていうのは、
0:45:46	一つ目のレ点は会合で示したものにちょっとその前にヒアリングで出してたやつも含まれるんだと思いますけどついてますと。
0:45:54	工事の有無の整理の考え方はちょっと記憶にないんですけど、同じように考え方を整理したものをつけるということですよ。
0:46:03	はい。日本原燃清水です。はい。今福さんに整理していただいた通りでございまして。二つ目の工事の有無の整理の考え方はまだお示しできてなくて、もともと網羅性を、が十分ではないということをご指摘受けてましたので、

0:46:17	どう整理するのかという考え方を、ちょっとこの資料の中でお示したいというふうに考えておりました。
0:46:25	工作です、私のもとイメージしてたのは、R I S
0:46:31	等で今①って書いてあるやつは、共通 12 で整理をしていく中でブラッシュアップするよというふうに会合でコメントしていたつもりで、
0:46:40	共通 12 の中に入るのかなと思ってたんですけど分けた理由ってありますか。
0:46:47	はい、N-Sシミズです。ちょっとここをちょっと我々も悩んだところではあるんですが、まずちょっと役割をちょっと仕分けたということで共通 12 の役割としては、新設工事をする設備の、
0:47:02	構造概要を説明する資料だって立ち位置に立ったときに、変更がないものは共通 12 の中には仕分けないということで今ちょっと、
0:47:13	12 と 13 ということで入口をちょっと分けたという整理でございます。
0:47:19	古作です。趣旨はわかりました。わかりました。考えてることはわかりましたけど、対応が適切とは思えませんということがありつつ、
0:47:29	ちょっと話が深く入ってっちゃうので、
0:47:32	とりあえず共通 13 がどういうものでかっていうのは館さん理解できました。
0:47:40	相木 C T O タジリです。中三ひっかえしてないけどや、見つめて分けてたんで三つ目のレ点っていうのがさらに何か追加したものかなと最初思ったんですけど今の話だと、
0:47:50	この間つけてるやつ自体が三つ目のレ点っていうので理解しました。単にそっから、12 とか 002 伸びてってるやつがまたいてよくわかんない
0:48:00	岡崎でまた確認します。
0:48:07	コサクです。それで言うと先ほど新設向上するものっていうのが共通 12 でって言われたところが私は納得いってなくて、
0:48:17	共通中にはそもそもそんな話でスタートしたのではなく、登場人物全体がどういうものなのかを、
0:48:24	体系的に整理をするということで話をしていたはずで、
0:48:30	その意味では評価対象設備の中でも、評価条件としてと、特筆すべきものっていうところでの構造は説明されるもんだと思ってたんですけど、
0:48:43	藤井さんはどういう認識で言いました。

0:48:46	規制庁とりあえず基本的に共通 12 で今おっしゃっていただいたように設計に必要な材料大体そろっていた上で、ただその細かなこと細かな各条文ごとの補足っていうのは各上に飛んでた後に見るんだろうなっていうふうに思っていたので、
0:49:03	多分認識はずれてないと思ってるんですけど。
0:49:06	田崎さんにとっていいですけど、
0:49:10	はいコサクです。で、
0:49:12	宗の
0:49:15	宗我々はそう認識してたんですけど何で原燃はこういうふうに勘違いをしていったのか、或いは
0:49:22	作業していく中でやっぱり分けて対応したいなと思ったのかっていうのは何なんですかね。これだと共通中に全部説明し切るっていうことが無理なような気がするんですけど、そうするとまた会合でどう対応するんだっていうのも、
0:49:35	訳わかんなくなっちゃうんですが、どうお考えになってます。
0:49:41	日本ヘシミズです。結果的に言うと、私が 1 人でこうはして、整理を誤った方向に持ってたということだと思います。すいません。今古作さん。
0:49:53	ご指摘していただいた点は理解しましたので、共通 12 としては、
0:50:00	全体像をしっかりお示しするということで、整理の方させていただきたいと。
0:50:10	はい。補足です。その上でですね、
0:50:14	と、どちらの矢印にせよ、加来城野と徳野加来城 00 というよりは多分個別補足説明っていうことだと思うんですけど、
0:50:28	下ろしていくものがあるっていう。
0:50:32	ことなんですけど。
0:50:37	共通 12 で説明するのと、各場で説明するのとの仕分け系なんですけど、当然その設定根拠だったり、具体の評価方法みたいなものは、各条になるのは当然なんですけど、
0:50:53	構造といった関係から、
0:50:56	何かその共通 12 では説明できず、個別にしなきゃいけないものってあるのかなあと。
0:51:02	というのがちょっとよくわかんなくて、

0:51:08	等、
0:51:11	特にまず、順番に話をすると、ピンク色の方で言えばですね。
0:51:16	詳細構造、系統構成等を含む、
0:51:22	というのが各場でとわれていて、
0:51:27	確かに系統構成は、
0:51:32	共通 12 には入らないような気はするんですけど。
0:51:38	詳細設計っていうのは何者かなっていうのがよくわからなくて、括弧代表設備以外も整理ってなるとなると、何を、
0:51:48	以外で整理しなきゃいけないんですかっていうのがよくわからないんですけど、どうなってるんです。
0:51:55	はい。日本原燃清水です。
0:51:58	まず私の方でちょっと考えたのが、共通中、
0:52:03	2D 代表性設備の構造を、1 から 10 まで、説明するというよりは、そういう所、再処理特有とかそういうところにちょっとポイントを置いてちよっとご説明、ご説明。
0:52:16	であったり、ちょっと代表等の差分というところにポイントを置いて説明し、するのかなと、そういうとこ以外の一般的な構造はこうなってますっていう説明は、個別補足説明資料かというふうな、ちょっと考えのもとこの資料の方はずっと書かせていただきました。コサクですそれだとやっぱり違って、
0:52:34	そう、何かば、いろいろと説明する場所を変えて、
0:52:39	複雑にしないでくださいともう共通中にもうこれで申す構造説明できましたね。
0:52:46	と言ってもらうために、会合で、ちゃんと一式説明できるように体系整理をしてまとめてくださいねって言っていたのに、なぜ複雑なことをしようとするんですかね。
0:53:02	はい。4 エネシミズです。おっしゃる通り資料を複数に分けて、
0:53:09	ちょっと説明すると、今後、攪乱することになるというのはおっしゃる通りですので、ちょっと、今一度ちょっと共通中の目的をちょっと、はい。整理して、全体像を示すということと、
0:53:22	構造の説明については共通 12 で、しっかりご説明するというスタンスでちょっと考え方を改めたい。改めたいと思います。

0:53:32	はい。補足です。よろしくお願いします。そうしないとその会合で説明し切ることが達成できなくなっちゃうのでよろしくお願いします。その上で、
0:53:43	その累計で説明はできているんだけど、具体を示させてもらいますっていうのが、個別補足のほうにあり、あってもいいかなっていうところで終わりつつも、それも、
0:53:55	その添付書類の添付図ですねえとかでわかるはずで、
0:54:03	どこまで必要なのかなと私は懐疑的に、
0:54:06	見てます。個別担当が精査をしていく中で、添付ではわからないのでっていうのがあれば、話をしていただければと思うんですけど、現状の認識はそんなところですよ。
0:54:20	ここまでで、規制庁側から追加なり、
0:54:24	何かあれば言っていただけますか。
0:54:32	規制庁谷です。ちょっと認識は全部小峰なんですけど、共通中には何か一般的か特殊かっていうのは、構造一式示した上で、それをベンダーがやって表とかの中で、こいつは先行例もありますとか、第1回で説明したやつですよっていう整理つけたり、
0:54:49	これは第1回と違う特殊な構造なんで個別に今後どこかその部分を拡大した図とか作って説明しようと思ってますっていう、清流あの書き方だけの問題だと思ってたので、
0:54:59	原電が言った分、一般的などこのこうのとかっていう概念は1回置いといていただいて、申請対象を示す上で必要な図っていうのは、意識示してもらえると、その上で、さっき言った整理のようなものがされると認識してるんですけどそれで合ってますかねまず原燃なのか調査か何かちょっとわからなくちゃったんですけど。
0:55:18	ある意味日本原燃清水です。はい。今、コサクさん田尻さんにおっしゃっていただいた趣旨で、すいません方向の見直しをしたいと思います。
0:55:29	はい。規制庁館です。なんで今ピンクとかをとか何か矢印2本延びたりとかっていうのももうなくて、リスト整理しました要は、AとかBとかB4で設備のコアの施工像とかを示した上で、いやニオイチとかですね。
0:55:45	生命整理した上で示さなきゃいけないって医師共通12で見れるようになってっていう形の流れですよ。

0:55:53	はい。日本原燃清水です。はい。申請対象設備の整理と構造の説明は、共通 12 で整理するという理解です。
0:56:02	はい、規制庁足りるばかり嫌いここでは次のようなケースですけど、 どういった単位で類型化する軽い形って言うのを言おうとしてるのかとかこの後聞きたいと思ってるんでまたよろしくお願いします。ここまで自分以上です。
0:56:15	はい、古作です私も同じで、今矢印的にいうとまずリストがもうできて、その上で、構造を説明してっていう流れになってますけど。
0:56:26	現実問題としてそうはうまくいなくて、
0:56:29	これからの話にある構造の話をしていくと。
0:56:34	今後、これは別じゃないかというような話があって
0:56:39	全体を示す上での必要な説明のパーツっていうのが、整理できていてそれに応じてリストに戻って、
0:56:48	制裁整理をし
0:56:52	これ、これで代表がこの部分、この範囲を網羅できますねと。
0:56:56	いうことでまとめていかれるもんだと思っています。そこは前回会合で指摘した通りなんですけど現それでよろしいですよ。
0:57:06	はい。日本原燃手術は I S O の認識です今は、の設備のリストは勉強意識して、したものにはなってそこのフィードバックがあるというのは、はい。認識しました。
0:57:18	はい、古作です。で、その上で個別に補足、この部分の根拠なり何なりはしてねとかっていうのは、これからの共通 12 の構造を聞いていく中でも話をしていけばいいのかなと思いますので、
0:57:32	或いは原燃の方からこれをこういうところで準備してますとかっていうのを言っていたいただければと思います。
0:57:40	評価の方も、先ほど言ったように構造図で、基本を示していただいとこと。
0:57:50	その時にも同じようにここは評価条件なので担保を取っとるように設計しますというようなことを説明いただいて、
0:57:59	具体については個別の方でこういう条件をベースに評価を条件構成しますと。
0:58:06	いうことで繋がりを持たせていただければと思っています。
0:58:17	頭熱そこまでは理解していただきました。

0:58:22	はい。原燃でシミズですはい。理解いたしました。
0:58:30	はい後続ですそれで、一番下なんですけど、
0:58:37	評価対象の類型を整理って言われてるのは何なんですか。
0:58:49	はい。日本原燃清水です。
0:58:51	評価対象の類型と今、もともと考えていたのは、
0:58:58	例えばですけども、何だ、
0:59:04	耐震ですと、ものを入れてやっても、既存の評価モデルカラーを変えましたとか、何ですか。直下の話、ごめんなさい。なんか、
0:59:19	評価にあたってこういうつい追加があります評価内容に対して追加がありますよっていうことを、を横軸に明らかにして、それに関連する設備がこれだっていう、マトリックス関係を説明、整理した上で、
0:59:33	この設備で代表でずっと説明しますというようなことを書く上で整理していくのかなというイメージをちょっと類型ということでちょっと今、表現させていただいておりました。
0:59:53	は、
0:59:54	と規制庁コサクですちょっと通信が変なふうになっちゃったんですけど、
0:59:58	今聞こえてますか。
1:00:01	日本原燃シミズですはい今聞こえております。
1:00:03	はい。規制庁保坂です。何かがよくわからなくなって、
1:00:12	なんですけど。
1:00:17	やはりその改造し、
1:00:21	してる工事をしてるしてないとかに随分ランわれすぎちゃってるような気はするんですが、
1:00:29	結局、B t o B 2 B 3 B 4 っていうの中に、工事のありなしがあるので、
1:00:36	そこで、
1:00:38	分ける。
1:00:40	なんつうかねB t o B の中をさらに分けてっていうところでな逆にその類型がおかしくなってるような気がするんですよ。
1:00:51	工事をしてようがしてまいが、評価としては同じようにやっていくってことじゃなかったんですけど。
1:00:58	日本原燃清水です。はい評価としては、工事の有無にかかわらずというのは、その理解です。

1:01:09	はい。なので、あまり
1:01:12	してないものの中で評価のリストとかっていうのはないような気がして いてですね。
1:01:20	各場で特に耐震とか
1:01:25	建物構築物に機器があってその中で支持構造の
1:01:31	累計だったり評価方法の類型だったりと、
1:01:35	いうところで何個か枝分かれさせて添付書類整理しますっていうのはそ の通りであって、
1:01:42	それに含まれるのが何かっていうのは、リスト化されるというのは理解 をして、
1:01:49	ます。
1:01:51	ちょっとその日
1:01:53	イメージでいけばいいってことですかね。括弧代表設備って言われるか ら、何かいまいちよくわかんなくなっちゃうんですね西田世古。
1:02:01	ございますそうですね今のやりとりでこの絵の中で一番誤解を生じるの が括弧代表設備と書いてある方が間違いのもとで、
1:02:09	もともと考えていたのは、耐震とかで言う評価モデルを変えましたと か、定式化でやっていたものを評価ゆ、有限要素じゃないですけどF E Mのモデルに変えましたとか、
1:02:24	というような近隣からの変更点に耐震A側でやろうとしたものを、今、類 型文の中の表の中で工事以外にもピックアップしようとしてまして、
1:02:35	それを共通 12 で受けるっていうよりも個別補足の耐震ができるという 絵姿を書きたかったのがこの絵のもともとのスタートです。
1:02:44	そういう意味では代表設備ってやっぱおかしくて、全体をちゃんと網羅 した上で受けるところでちゃんと受けましょうということを書きたかつ たということでした。以上です。
1:02:54	はい、古作ですわかりました。今言われたように、類型の中で評価モデ ルを追加してるなり変更してるっていうことであれば、一つ目が、青の 一つ目側の 0.2 なるような気がしますけど。
1:03:11	モデルの具体の設定の仕方なり、今回この場所ではこういうような工夫 をしていますと。
1:03:17	いう説明を当然個別補足としてあるんだろうなど。
1:03:21	思いますし竜巻とかでも

1:03:26	評価の内容を一連説明いただくと。
1:03:30	いうことは必要だと思いますのでその中でモデルの具体というようなことも示していただくということだとは思いますが、そこ、
1:03:39	そこう考えておられるんだと、一応理解をしておきますので、今後の資料提示においてまた認識が合っていければと思います。以上です。
1:03:53	はい、小峰シミズはい、了解いたしました。
1:04:03	規制庁清水です。
1:04:07	規制庁側から確認ございますでしょうか。規制庁の田尻です。さっき少し触れたんですけど、代表設備ってという言葉は別としてなんですけど、
1:04:16	例えば今回G.の話とかいろいろ出てくるんですけど、竜巻の場合ボンネットどうしてもこいつの構造違いすぎるところはあるんですけど、ああいうのって、例えばパーツに切り分ければ何か同じようなものがそろってるっていう概念になりそうな気がするんですけど。
1:04:32	そこら辺の類型ってどういう単位で説明しようとしてんでしたっけ。
1:04:40	はい。日本原燃清水です。
1:04:43	そういった意味でちょっと今お出ししている資料は、ちょっと類型が十分ではなくてちょっと、
1:04:50	それぞれのネットが別口座、
1:04:53	という頭でちょっと資料作ってしまってますけども、
1:04:56	飛来物防護ネットというくくりで、共通的な設計する内容がありますので、そういうものを一つのネットをもって代表で説明して、他のです。
1:05:10	稲毛西原でございます。累計のメッシュの区切り方ってやり方は幾つかあると思ってるんですけど、考えたらまずは飛来物防護ネットという、例えば防護盤もそうですけど大きくりの塊で、
1:05:23	要求事項だったり設計方針で、同じものを並べて、それで比較をしていくと、当然その設計方針を達成するために、構造は、基本的には同じになるはずで、そこでまず累計をするのと、
1:05:36	あとはおっしゃっていただいたようにその防護ネットを切り分けて、ネット防護版、例えば7事故学校とかですね、分けて考えたときにどうなるかっていうのもメッシュの組み方としてはあると思ってます。
1:05:49	ただまだそこまで綺麗じゃなくてですねやるとしてもまずは設計方針だったり要求事項のメッシュで、類、分類額を使って、同じもの違うものっていう差別化をしていく。

1:06:01	同じものが、といっても並ぶものがあんまりないので、累計者としても二つぐらいは一緒ですねみたいな話にしかならないですけど、そういうのを整理をしていくというのをまずやろうと思ってました。
1:06:12	はい。規制庁田尻です。検討中の部分が長内の状況はばっかありました。
1:06:18	その上で、先ほどおっしゃられたように防護板であるとか、ネットとかがあって、今現状は例えばネットでいうと枠付けですと直接指示だっという形でやってるんですけど、
1:06:30	今日大きく分ければその二つだと思うんですけど例えば朽木のやつで、今回のG. とかのところで、要は
1:06:39	もともとある学校にそのまま抜けるような形とそこにはめ込むような形で学校からC Tが支え伸ばしてやるようなやつとかあって、評価部位変わってきちゃうような気がしたりするところとかがあんまり説明がなくて、
1:06:50	その代表で説明しても構わないんですけど、ちゃんとその全体を説明できるんですよっていうところ説明してないやつで実はこういうふうに評価しなきゃいけない点が残ってましたって後でやられると。
1:07:01	結局、審査の漏れみたいな感じになっても、時間がかかるだけなので、そのあたりもちょっと今後確認していきたいと思ってるので、全体像をとらえた上でどこにこいつは入ってるというふうに整理してるのかっていうのも聞いていこうと思ってるんでよろしくお願いします。
1:07:16	はい。日本原燃石田でございます。そういう意味では、
1:07:19	先ほど来の話でも絡みますけど、もともとの試験が、構造に、を説明しますという話ではもう、2-2 っていう評価方法とかですね評価方針、そういったものとの関係も考えた上で、
1:07:33	構造の説明をしていくと、それも踏まえた上で累計であったり、差分というのを導き出していくってのがもともとの話だったと思いますので、そういうことも踏まえて資料は整理をしていきます。以上です。
1:07:50	古作です。念のため、
1:07:52	ちょっと下、今のおさらいというか確認なんですけど、
1:08:00	等、
1:08:01	主に耐震で類型を整理していく中で、説明項目というところを挙げていて、なるべく1、

1:08:13	多くの説明ができるものを代表としてあげます説明していきますと、
1:08:18	いうことにしつつ、同じ説明項目であっても違う。
1:08:24	内容が含まれていたりというものは補足でつけていきますと、
1:08:29	いうことでピックアップしていきますということだったので、今回の共通中においても、飛来物防護ネットという関係では、
1:08:40	まず大枠一つではありつつも、A4Bで説明した内容から、
1:08:48	少し追加になるものなり
1:08:51	視点が、
1:08:52	視点が追加になるものだったり、ちょっと対応が違ったりと。
1:08:56	いうものについてはプラス説明していきますよということで、結果としてほぼすべてのネットが出てくるということになるのかなと思ってたんですけど。
1:09:09	その際にも
1:09:12	A4Bとは違うけど、次点とは一緒ですみたいなネットもあるでしょうし、
1:09:16	そういったところでは全体の関係性を整理をして
1:09:20	順々に追加説明をしていくということで、
1:09:24	重複はさせないようにっていうことかなと思ってんですけど、どんな感じですかね。
1:09:32	はい。宮城西田でございます。いやいいたいことはおっしゃっていただいている通りのことでございますなるべく重複しないように、差分を明らかにして、只野先ほど差分と言った時に大きく抜けてしまうのだけはないように、注意しながら整理をさせていただくということだと思ってました。
1:09:51	はい。コサクです。そこがまた大事で、そのためにリストにさせていただいて、これとこれ本当に法案関係にあるのかというようなことを、
1:10:03	聞きながらですね、
1:10:06	確認をして違いが出そうであれば追加をさせていただくということなのかなと思ってます。以上です。
1:10:19	規制庁、清水です。藤。
1:10:22	こちらの画面共有の資料なんですけど、と共通受中に本体についてと原画から続いて説明とありますでしょうか。

1:10:41	日本原燃清水です。これまでのやりとりで、ちょっと私の頭の整理が十分じゃなくて、ちょっと資料の方向性がずれていましたので、
1:10:51	ここをしっかりと是正した上でご説明させていただいた方がいいのかというふうに考えております。
1:10:58	規制庁田尻です。
1:11:01	どこかで費用は是正して欲しいんですけど、是正していこうと思っ てますっていうイメージぐらいをやっておかないと何か、
1:11:07	何かスケジュールが良くなりそうな気がするんですけどそのあたり大丈夫でしょうか。
1:11:13	はい。日本原燃清水です。すみませんありがとうございます。わかりました資料の構成の方をちょっと
1:11:19	大枠でちょっと、御所、私のちょっと今の考えてるところをご説明 させていただきたいと思います。
1:11:27	まずは、資料の方ですけども、
1:11:31	6 ページ目。
1:11:34	ねえ。
1:11:38	A から B1B ように分類したのに対して、外部衝撃を主条文として説 明するもののリストを今回つけております。これはリストアで全体は示 すんですけども今は、先ほどご説明した通り、
1:11:55	工事をしたものに測定したような率になってして、なっていますので、
1:12:01	そうではなくて、当評価だけのものも含めまして、9、すいません 8 条 で説明するものを、のリストの方、
1:12:12	お示ししたいというふうに考えております。
1:12:21	規制庁甲斐です。とりあえず設備とか関連するも増えていくってのは理 解してたんすけど、この表の見方がまずよくわからなかったところがあ るんで幾らか聞いておきたいんですけど。
1:12:31	いいですかね。
1:12:34	はい。よろしく申し上げます。
1:12:36	ちょっといいです。まず、今回この外部衝撃等って言った時にこの表を 載せるルールなんですけど例えば、基本的に二重丸がついてるところが 会社の条文だって話だと思うんですけど。
1:12:49	後、下から 4、7 ページの下から四つ目のところとかで、

1:12:55	二重丸が他についていてむしろさっきの会社のところ、みんなが二重マルついてるところに記号ついてない人も行ったりはすると思うんですけど、
1:13:03	これは下カメラだから関連するものっていうことなんですか何かいまいちこいつがここにいる理由がよくわかんなくなっちゃって、
1:13:12	はい、日本原燃清水です。でも、ちょっとこちらの整理もちょっと途中でちょっと悩んだ点ではあったんですけども、一応カメラの関連条文としては制御室の条文の要求を踏まえて設置しているものです。
1:13:23	ただ一方でカメラを設置するのは、外部火災の状況なりを監視できるようにつけているカメラだという位置付けもありますので、
1:13:34	その条文ごとに説明する分類を今、八条の分類にちょっと入れさせていただいたという整理でございました。
1:13:42	規制庁の田尻です。ちょっと印刷を失敗してしまって水入れ見づらかったんでこの二重丸ついてるのも八条の絡みでしたっけシェアこのカメラがついてるの、ちょっと上の方に少し言っていたいでね。
1:13:56	日本原燃志水です。衛藤カメラにつきましては、関連上、あと 20 までつけている条文については、制御室の整理になっております。
1:14:08	藤規制庁、館です。なぜこの二重丸がつくのは主上部やなんか。
1:14:16	どういう並びでしたっけちゅうだけなんですけど今の感じだと別に制御室の絡みでこれを出してきても構わないと構わない気がするんですけど、要は二重マルつけてるけど他の条文で拾いますっていうふうにやった時に後で混乱しないかっていうところだけ気にしてるんですけど。
1:14:36	日本原燃、清水です。
1:14:40	今、佐治美伊さんがご指摘いただいたのは、
1:14:45	ちょっと私がちょっとまだ追いついてなくて、
1:14:50	八丈だ形の二重丸とかいうものをちょっとピックアップして持ってきたときに、
1:14:56	その全体のリストから漏れみたいなのかっていう時にする、そんなもんややこしい話じゃなくて要は、
1:15:04	または要望がある中で、そいつの所条文となる設備をそいつごとにピックアップしてきますよっていうふうな話で、ただし条文で引っ張ってきたとしても、関連する条文で地震とかだって満たし会議所だろうが見るだろうしっていうのがある中で、

1:15:19	何か今回の制御室みたいなやつで他んところ 20 までつくけど、
1:15:23	外傷のところに入れてますっていうふうにやったときに、
1:15:28	要は、こいつはどっちで入れたんでしたっけっていうふうに後で元混乱 しませんかっていう質問してるだけです各条ごとにリストを整理してい って、何か実はこいつは違う 常務で拾ってるんだけどねみたいな話にな ったときに混乱しませんかっていうだけの質問です。
1:15:42	上下シミズ先生ありがとうございます。おっしゃる通りで今のリストの 作り方だけでは、
1:15:49	確かに中の関係者が混乱しますので、その 8、二重マルつけた条文が、 その八条でなくても 8 条で説明する場合はその趣旨がわかるように、
1:15:59	注記なり何なりで、明確にするなりの、ちょっと対応の方考えたいと思 います。
1:16:06	成長 2 人です。
1:16:09	とりあえず、原電として一色抜いてきて後で何かこれ抜けてるのってな らない。整理できればとりあえずはいいです。はい。
1:16:22	あと規制庁谷井ですけど、ちなみにこの表っていうのは何かもう大体精 査が済んでるもんじゃないですかね何か。
1:16:29	希望がついてたりついてなかったりってやつが所々いる気はするんです けど、一応それは施設ごとの特徴を踏まえてちゃんと抽出されてると思 っというて大丈夫そうですか。
1:16:41	はい、日本エネシミズですはい。我々の整理としては、はい。整理が ついているものでちょっとお示ししていると。
1:16:49	つもりでした。で、今つつ、他の条文も含めまして、当該リストの全体 で B から A から B1B4 の整理の方はちょっと継続してやっていますので、
1:17:03	最終的にはその結果をこちらの方にフィードバックしたいと思ってま す。
1:17:07	はい。規制庁藤です。対処設備等も増えてきた上でさえ、もう 1 回軽視 されると思うのでそのタイミングでしっかり詰めようとは思いますが けど。
1:17:15	また何か各条ごとに横並びとか見なきゃいけないと思うので、整理 のほどよろしくお願いします。
1:17:23	はい。日本原燃清水です了解いたしました。
1:17:27	古作です。

1:17:29	タジリと一緒にではあるんですけどももともとはニジュウマルっていうのを、
1:17:35	整理をしてそれを束ねてやるんだと言われていたはずだったのが、方針が変わったんだなということで、
1:17:42	何か方針変えたのに知れというので、
1:17:46	なんでそれで認識共有できるんだと思ってるのかは非常に不思議に感じました。
1:17:54	それはオフィスPT、
1:17:56	江藤今野。
1:17:57	監視カメラですけど、何で八丈丸ついてないんですかね。
1:18:06	日本原燃志水です。今は、これ制御室の条文の中で、材料を監視する要求がちょっと明示的にあったものではないです。コサクです。その機能は当然制御室にあるんですけど、
1:18:20	じゃあ、そのカメラは、
1:18:22	外部商品に対して影響を受けてもいいんですか。
1:18:28	日本原燃CDS、そういう意味では、当該カメラは、安全機能を有する施設に該当しますので、
1:18:37	条文要求としては受けるものでして、ちょっとももとの設備リストの整理として、その防護対象以外のものを今ちょっと施設共通のところで、丸付けしてたっていう整理があって今、
1:18:52	ここの部分を、ほぼ共通的な方針については施設共通でマルつけてたんですけども、今、そこの部分については、BPOの整理の中でちょっと全体的に今見直してますのでその結果はちょっと反映したいと思います。
1:19:10	はい。補足ですこの後、修正が入るということで理解をしました。
1:19:15	念のためですけど、安重以外もう設備登録してるものはあるはず。
1:19:22	そのところもやっぱりあれですか、丸ついてなかったけど今後っていうことになるんですかそれとも、
1:19:28	また別なんですか。
1:19:30	美馬の整理では安重以外のものも条文対象なのでマルを付けるという方向で整理を考えていました。
1:19:41	コサクですその整理はそうだと思うんですけど、今は丸ついてないものもあるっていう。

1:19:46	西田もごめんなさい、丸ついてないのあります。当初丸つきをした時に0に軽重をつけてなかったんで、
1:19:53	安全機能優先施設あって出てくる条文全部丸をつけていくか、もしくは、防護対象みたいに設計を明らかに評価も含めてやんなきゃいけない人と、
1:20:05	交換含めて一般的な保守保全補修であったり維持管理の中で、機能を維持していくという人たちを差別化したいなというのもあって、
1:20:15	施設共通、というのを下の枠に設けた上でさらにリストをつけてその施設共通に入っているものは、一般的なああいう全般の話であったり、火災でも難燃船みたいなものを、
1:20:25	共通的にみんなに共通的なものはそこで呼びますということで整理をしてました。はい。
1:20:33	8コサクです。わかりました。
1:20:37	はい。こちらは前もお話したことだと思いますので関連はしてるけど方針が大きく違うんだということで、
1:20:48	丸をつけた上で何かさ、差別化、注記なり何なりっていうことでされるんでしたっけ。
1:20:55	はい。二本木の石田でございます。はい。他との差別化の今回みたいに新しく新規設置した上で、新たに何か設計としての確認をしなきゃいけないものみたいなものを、
1:21:05	としての差別化みたいのを考えた上で、同じように、全部あれを付けてしまうと、元のものに戻ってしまうので、そういうことがないように、整理をしていきたいと思ってました。
1:21:16	はい、小コサクですわかりました。
1:21:19	おそらくあれですねこのリストっていう関係だと、
1:21:22	B3B4に入るのが多くなると思うんで、あまり混乱はしないかなとは思いますが、わかるようにしといていただければと思います。よろしくお願いします。
1:21:36	はい、いたしました。
1:21:41	規制庁、志水ほか等、こちらの資料について規制庁側から確認ございませんでしょうか。
1:21:53	規制庁タジリとりあえず設備の表まで来たけどそこから先原燃大丈夫そうですね。

1:21:59	すいません日本原燃清水です。
1:22:01	頭皮すいません。今は1ポツの表の部分ということで、次が2ポツ以降、
1:22:09	ちょっと画面が変わったり、
1:22:11	2ポツ以降のとですね、類型化して、の後の設備のつまり構造説明のところからですね、ちょっとご説明させていただきたいと思います。
1:22:26	通しページの方で、10ページの方になります。
1:22:33	2ポツということで、構造概要と説明するということでしょう起こしておりまして今、2.1 飛来物防護ネットと書いた以降にですね、ここのネットの説明をちょっと今書いてしまっているんですが、
1:22:47	これが今先ほど、医者からも話があった、
1:22:53	分類ですね、前例をしっかりと意識した資料になっていないので、ここの部分、ネットとしてどうあるのかというところをし、
1:23:04	共通的なところを書くのというのと、この11ページ以降も、個々の機器、ネットごとに、今、表構造設計の要求事項からの整理した表をつけてございますけども、これを、
1:23:18	すべてですね、G. であったりA4Aであったり、
1:23:23	F案F案のF-D客等であったりっていうのをしっかりと並べて、どこが
1:23:31	例示するのかっていうのをちょっとわかるような表に、ちょっと全般的に見直したいというふうに考えておりますその上で、
1:23:37	構造部材の説明の方に展開していくというふうにちょっと資料の構成の方変えたいと思っております。
1:23:48	はい。2ポツのちょっと、すいませんざっくりしてますけども、見直しの方針としては以上でございます。
1:23:55	規制庁田尻です。
1:23:56	全体大きく変わりそうなんですどこまでっていうところは率なんですけど、
1:24:01	ちょっと認識を確認しておきたいんですけど、ここところで、11ページ以降で表が整理されて、こういう差があるんですよとかっていう話をされてはいるんですけど、
1:24:10	これ後ろの方の図のところ行くと、いろんな注釈がついてるんですけど、
1:24:15	そこで注釈で、何かこういう構造なんですよって徳田して、

1:24:19	前の表で拾い切れてるかっていうとそうでもないような気がしているんですけど、それって後の分にとって何か関連しているんでしょう消せないんですけど。
1:24:29	日本メイシーズです資料の目的としては関連して説明したかったんですけども、ちょっと図の注記の方にですね、代表との差分なりちょっと特殊な設計してる所を野放図の注記に預けすぎているところがありますので、
1:24:47	そこの部分を、このも前の表のところにですね、持ってきて何で差分ができてるのかっていうところをですねしっかりちょっとお示しできるようにちょっと、
1:24:56	全体として見直したいと思います。
1:24:59	はい。規制庁谷井です何を説明しようとしてるのかを最初のページでわかるようにっていう意味も込めて、表を作られてるんだと思ったんですけど、今現状中に13とかで竜巻のね、竜巻としての話が書かれてる。
1:25:12	けど、清流場の話等、あと建屋の隣接の花CとかBSもありますよ以外のところは、差分は全くありませんみたいな雰囲気になってるんですけど、
1:25:23	そんなことはないだろうっていう気はしているので、後ろの方に書かれてるやつでも足りないぐらいの情報がいろいろあるような気がしているので、
1:25:31	過去、結構前にですけど写真とかもつけてくださいねっていうやつも取られてるんだったらそういったものもどんどんつけていただいた方が多分全然サポートするとわかりづらんでも写真つければ一発っていうのもあるような気もするので、
1:25:45	そういった点も考慮しながら内容の拡充を図っていただければいいんじゃないかなと思ってるんでよろしくお願いします。
1:25:52	はい。表現年シミズです。了解いたしました。
1:25:55	はい。これまでの流れで評価項目も意識した、ちょっと御説明というところももともと足りてませんので、はい。全体的に直したいと思います。
1:26:08	規制庁コサクです。
1:26:12	関連してなのがよくわかりませんが、

1:26:19	飛来物防護ネットが非常に複雑なので、しょっぱな構成を決めるのに、代表ではなかったなというふうには思うんですけど。
1:26:32	そもそもこれ、
1:26:35	11 ページから表がバーッと並んでますけど、この表の構成ってどうなってるんですか。
1:26:44	日本下シミズです。11 ページ以降の表につきましては、
1:26:50	条文要求ごとにですね、設計方針に繋がる、構造設計の説明に繋がる要求事項をそれぞれ抽出してきて、
1:27:00	それに対する基本設計方針なり具体の設計の考え方っていうのをちょっと整理した表にしたいというふうには、
1:27:07	したいと思っておりました。
1:27:12	古作です。
1:27:15	そうすると、
1:27:18	一番最初地震ってきてますけど、
1:27:23	な並びをあれですか条文の番号 5、
1:27:27	この順番でっていうことですか。
1:27:32	はい。日本原燃清水です。前の表と、はい整合合うように、今おっしゃっていただいた通り需要条文の並びにしっかり合うように整理したいと思います。
1:27:42	補足です。それとなんかぐちゃぐちゃになってますけどっていうことですかね。
1:27:51	歳 2 本目のシミズですと事故名の説明の 1 の落雷の位置がすいません、ちょっとここはフレコンになっているところがちょっと一部あります。
1:28:01	はい、古作ですじゃ整理をしていただいて、
1:28:06	こう書いてある要求事項と基本設計方針。
1:28:12	頭構造設計と言ってるものがちゃんと書き切れてますか体系的になってますかっていうことうだと思んですけど。
1:28:23	これはどういう作業で整理されてるんですか。
1:28:38	日本原燃シミズ少々お待ちください。
1:28:50	はい。日本原燃飛田でございます。やり方がいいかどうかはさておき、やったこととしては基本設計方針がまずあって、それを
1:29:01	どうも、要求事項どの所、条文要求ですかね、と関連するのかっていうのを分類した上で、その基本設計方針っていうのはもともとどういう要

	求事項が来てるかってテレコになってるんで、おかしい話なんですけど。
1:29:15	左を書き、基本設計方針を見ながらそれを達成するために、どういう構造にしたかを書くというのがもともとの考えなんですけど、そこがまずそもそもそういう紐づけがうまくできてないのと、
1:29:28	本当に基本設計方針達成するための構造説明なってますかっていうところが足りないのも事実だと思ってます。以上です。
1:29:40	古作です。確認をする等、まず基本設計方針は、
1:29:51	今見てんのか、竜巻であれば竜巻で、基本設計方針で書いてあるものを、
1:29:59	一色抜き出してるとってことではないですよきっと。
1:30:05	何を抜き出してそれで十分と思えるかというのはどう考えてますか。日本原燃清水SE今はですね、我々はちょっと構造に着目してし過ぎてしまったので、ちょっと構造に関連するような設計補修も抜き出しているんですけども、
1:30:20	そういう意味で、これまでの話の中で、業績をすべからくしっかり抜いてご説明しなきゃいけないというふうに考えております。
1:30:29	はい、古作ですわかりましたそれはあれですね評価は別でと思ってたりもなんかしたもんだからっていうことですかね。
1:30:36	はい。日本原燃清水はい私のちょっと考え違いがあっただけでそうになってしまってます。
1:30:42	はい、わかりました。でしたらそれで網羅するというのを意識してまとめていただいて、
1:30:51	今映していただいている竜巻の表だと基本設計方針並んでるんだけど、要求事項はまとまっているってこの関係はどう、この要求事項って何ですか。
1:31:11	はい。日本原燃志水です。改めて見ると、
1:31:17	要求の方は、丸めて書き過ぎてますね。やはり基本設計方針を踏まえた要求事項をしっかりブレークして書かないと目的を達成しないので、そういった点もしっかり見直したいと思います。
1:31:31	規制庁の田尻ですそういうことではなくて要求事項っていうのは何から持ってきたもんかっていうのは多分頭の整理なんですけど、基本設計方針

	で、今申請書とかに書いてある意識持ってきたら、ここの要求事項の話も大体そっちに入っちゃう気がするんですけど要求事項っていうのは、
1:31:47	基準要求とかの話ではなくてどう設計しようとしてるか今現在変えたんですでしたっけ。
1:31:52	日本原燃シミズですはい。そのつもりで書いておりました。
1:31:57	規制庁館です。多分それが要求事項とは何ぞやっていうところが、御社がどう設計するかが概念のまず基本は全部基本設計方針に書いている気がしていたので、
1:32:08	そこですますます混乱してる気がするので、要求事項なら基準要求だし、それを下に対してどういう設計方針ですっていう基本設計方針があって、それをかみ砕いた構造設計があってっていう流れに、
1:32:21	なった方が見やすいんじゃないかなとは思いますが。
1:32:25	はい。日本原燃清水です。はいありがとうございます。今田尻さんがおっしゃっていただいた整理の方でちょっと見直した見直しの方をしたいと思います。
1:32:37	はい。コサクです。
1:32:39	そうですね。おそらく基本設計方針の最初に言ってる大枠の古藤。
1:32:47	をイメージされてるのかな。
1:32:49	という気はしますので、基本設計方針を
1:32:54	大枠蓋構成にして、
1:32:57	大枠の方針に対して具体をこう展開していてっていうのを待機付けて
1:33:04	ものに展開していくということもあり得るのかなとは思いますが、一石網羅する中でよく整理をしていただければと思います。
1:33:13	その上で、
1:33:15	基本設計方針から急に構造設計2 飛べるのかなあとということがよくわからなくて、
1:33:25	そのあたりはどうなってますかね。
1:33:29	日本原燃清水ですおっしゃっていただいた通り、既急に基本設計方針からダイレクトで、
1:33:36	具体の構造設計というよりは、設計のコンセプトといいますか考え方みたいなのをしっかり挟んだ上で、具体の話をするべきというふうに思いますので、そういうところをしっかりと展開書き込んでいきたいと思えます。

1:33:55	コサクです
1:33:57	ここをやってみてどこまで、
1:34:02	はいた方がいいかとかってというのは考えてもらったと思うんですけど。
1:34:07	現状今構造設計って書いてある欄を
1:34:13	添付書類のどこかに書いてあるものを持ってきてるんですか。
1:34:25	はい。日本原燃田仲でございます。構造設計の中身については今回構造説明する上で必要となる文書を今回オリジナル例と考えてと書き込んだものとなっております。以上です。
1:34:47	古作です。耐震妥当、
1:34:51	構造計画でしたかね、
1:34:54	ありますけど、
1:34:57	オリジナルになってるのは何でかとか、今後添付としてどうしていくかとかっていう考えはありますか。
1:35:10	日本円シミズです。ちょっと申請書も意識したようなこの表のつくり方にまずちょっとできてなかったのは反省点かなと思ってまして。
1:35:20	おっしゃる通り、基本設計方針を受けて、添付の中でそれを、
1:35:25	具体設計に展開するための記載が添付書類にあって、そこでさらに具体的な構造の話につなげるというようなちょっと形でちょっと今、1度資料の内容をちょっと検討させていただきたいと思います。
1:35:41	はい。補足です。
1:35:43	そういった意識を持って資料はブラッシュアップしていただければと思います。一方で必要な説明、
1:35:53	ができるかというところで、どういう体系にしていくのか、どこまでの性、内容にしていくのかってというのは、順次進めた方がいいと思いますので、
1:36:06	ヒアリングを進めつつ、ブラッシュアップをしていただければと思います。
1:36:13	なぜこういう話をするかっていうとさっき最初に田尻成川もあったように、
1:36:21	同様ですって言うてルウのが本当かみたいなところを話すためにもどの範囲までが、

1:36:27	同様に、どこから違うのかということによって、包含関係の議論というのも、どの範囲ですればいいのかと。
1:36:36	というのがわかるようになるので現状だともう行動計画の中に押し込んでしまっていて、
1:36:43	末端が近ければもう全部が違うみたいになっちゃうような気がしたってその点で整理をしていただければと思ったと。
1:36:51	ですよろしくお願いします。
1:36:55	はい、二瓶西井です。了解いたしました。
1:37:03	別所シミズ他と共通 12 について規制庁側から確認ございます。
1:37:13	古作です。せっかく
1:37:15	竜巻の防護ネットで例示されているので、
1:37:20	図面で話をしているところとの関係で質問をすると。
1:37:26	例えば、会合でもあった、
1:37:31	等、
1:37:32	建屋との境界部分クリアランスを埋めるための防護盤っていうのは、
1:37:38	麻生家あれ棒 5 番
1:37:40	を理事、何だ単品で行ってるからネット側には出てこないと。
1:37:50	日本原燃田仲でございます。すいません。今のちょっとご質問の内容がちょっとうまく理解できなかったのもう一度、よろしく申し上げます。
1:37:58	会合で説明のあった構造について今日の資料ではどういうふうに整理されてますか。
1:38:07	日本原燃田仲です。会合でつけた図というのは今回の共通中にないと通しの 26 ページでございます。
1:38:21	すいません。ズーではなくて、今の表でどう対応付けられそうか。日本原燃のサカモリでございます。13 ページのですね、ナンバー 6 のところに今出ている防護板のことは記載しております。
1:38:38	それが端的に一番あらわれているのが 13 ページナンバー 6 一番右側の一番下のところですね、秦高野防護板括弧鋼材を設置しているところが今、
1:38:48	議論させていただいている 1 項のところになります。以上です。
1:38:57	古作です。13 ページの 6 番ということであると、
1:39:08	ところの隙間を設けているっていうのは、

1:39:12	どこで出てくるかっていうと、
1:39:26	質問が悪いですかね、一番右の中に
1:39:30	相対変位を踏まえた隙間を設けているって書いてあるんですけど、隙間を設けるという要求事項として整理をしているのはこの全体の表のどこですかと。
1:39:42	日本原燃のサカモリでございます。11 ページのですね、本来地震のところで書く必要があったかと思うんですけどもすみません今現在それが書いてないなというのに気づいているので、追記が必要かなと思っております。以上です。
1:39:58	はい。補足です。それが
1:40:02	関連条文全部並べた上で、相互に関係があって設計をうまく調和させているというところの説明になると思うんですね。
1:40:12	なのでちゃんとお互い書いて、
1:40:16	できればこれせっかく表を並べて番号づけされてるので番号とかも書いていただくと、いいんじゃないかなというふうに思います。
1:40:29	日本原燃清水です。はい。設計のリンクがあるところはですね。はい。関係性をちょっとこの表でわかるように、
1:40:35	したいと思います。
1:40:37	はい、古作ですよろしく申し上げますそれで、戻って 13 ページの 6 番ですけど、設計方針はじゃあ何て言ってたかなっていうと、
1:40:48	ネットが設置できない箇所っていうことでしかないんですね。
1:40:56	は設置できない箇所ってなんだよっていうのはどこに書いてあります。
1:41:03	はい。日本原燃の高森でございます。1 個右の構造設計のところに一番最初に必要離隔距離を確保できないとか、具体的なことをちょっと記載させていただいております。以上です。
1:41:26	古作です。
1:41:27	もう、
1:41:28	第 1 回に戻っちゃって申し訳ないんですけど、必要離隔距離を確保できないって何でしたっけ。
1:41:35	日本原燃のサカモリでございます。防護ネットにですね飛来物が当たると、ネットがどんどん伸びてって飛来物のエネルギーを吸収していくということになりますので、

1:41:46	それなりの距離が伸びていくことになるのでその距離を確保しないとそこそですすみません、それはわかるんですけど、それが確保できるように距離を離して設置をしているはずという、
1:41:59	ところの中で確保できないってさらにいうのは何でしたっけっていうことです。
1:42:08	日本エネタナカでございます。確保できない例としては前回の大会のA4BでもありましたAの配管の取り合いの部分とかが、そこに該当しまして基礎形状の制限の都合からネット離して設置することができなかった。
1:42:24	そのために板を張りつけて防護しているというようなものとなっております。以上です。
1:42:30	はい。補足です。そういったところがいろいろとその違いが生じ得る場所じゃないかなという気がするんですよ。
1:42:39	で、それをじゃあどこ表していくかなっていうことで、今だと右側のところに、
1:42:47	相対変位がみたいなところで、
1:42:51	この必要離隔距離を確保できないとちょっと意味が違いますけど、全部差分で説明しますだけになっちゃってて包含すると言っちゃえば包含するし、みたいになるんですけど。
1:43:03	いやこれは意味違うでしょっていうようなところになったりっていうことなんですけどそのあたりどう具体化していきますかね。
1:43:18	少々お待ちください。
1:43:26	日本原燃の笹森でございます防護ネットは、ネットを主体とするという本来のその思想からちょっとずれて、離隔距離が確保できないっていうそういう思想からずれてるっていうことになりますのでそういうところをちょっと、
1:43:40	今どこにっていうのはすぐちょっとぱっと思い浮かばないんですけどどこかに表していく必要があるのかなというふうに考えました。以上です。
1:43:49	古作です。それで言うとはですね、
1:43:54	今回類型を整理するにあたっては、これに該当するのはどういうのがあるかっていうのを一式並べていただいて、
1:44:03	説明ができる、

1:44:06	図としてこれとこれがあればいいねみたいな話をしていただければと思います。
1:44:12	話を戻すと、これの
1:44:18	構造設計の一文名で基本的には、
1:44:22	説明されるということだとは思いつつ二分目で
1:44:29	追加になっているんですけどこれ妥当。
1:44:33	第1回の設計から対カーの設計が入ってくるようにも見えるんですけど、どういう認識でこれ二つの文章を書いていますか。
1:44:52	日本人は現在タナカでございます。もともとが、第1回はまたより目と前の文章だけがなっていました。今回ここを追加したのはですねこれだけでええと、今回の説明に対して、この文章だけだと足りないなど。
1:45:06	思ったんで大綱の方をちょっと書き出していたという考え方になってます。以上です。
1:45:12	コサクですそうすると設計方針も追加ですよ。
1:45:20	でも変更してないんですよ。
1:45:22	日本原燃清水です。
1:45:26	我々の意図としましてはその上の段の初めの段の中の具体化をちょっとまた以降で書いたというちょっとスタンスではいたんですけども、
1:45:36	8 コサクですなんだろうなと思って先ほどからお話したんですけど、であれば、またではないだろうと思いますし、そういう関係がわかるように書いていただかないということだと思えます。
1:45:48	結局防護ネットが設置できない箇所っていうことに、基本設計方針で丸めていてその具体の展開っていうことだと理解をしますけどそれでいいですか。
1:45:59	はい。日本原燃清水はい。その理解でございます。
1:46:03	はい。補足ですとそうするとですね、1番目も実はよ、構造設計の一文もよくなって、確保できない場所てんねっと変形阻害するってなっていて、さらに頭があつてということなんですけど。
1:46:17	これはあくまで
1:46:21	確保できない箇所ってものの例示として、円提示というか具体として上げていくという中に、ブレースがあつたり、先ほど言った基礎の関係から話せないというところがあつたり、

1:46:37	耐震要求からくりアースを取って話さなきゃいけないところがあったりと。
1:46:43	ということですよね。
1:46:46	はい。表現シミズです。はい。おっしゃっていただいた理解ですので、しっかりそこは表現できるようにちょっと見直したいと思います。
1:46:55	はい。補足です。そうすると、構造設計っていう前に、そういう幾つかの、
1:47:01	はい部長。はい。
1:47:03	なんだろうな。
1:47:05	外部要因から、ケースが分かりますというところが間にあってそれぞれどうしてますかっていうふうになるんじゃないかなと思いますので、
1:47:15	その点どう5欄を追加するのか、文章でうまく書くのかわかりませんが、整理を進めていただければと思います。他の点も併せて同じ視点で、
1:47:28	ちゃんと基本設計方針からどう展開をするのかという関連性を念頭にまとめてください。以上です。
1:47:38	はい。日本原燃清水です。はい。今ご指摘いただいた点、全体に、の、
1:47:44	展開してしっかり、資料を作り込んでいきたいと思います。
1:47:52	規制庁の田尻です。個別の議論は言わないようにはしたところではあるんですけど、今、せっかく清瀬教授とかの話出たんで一応言っておくんですけど、今基本設計方針の一番上だと、ネットは設計飛来物の通過及び貫通防止で、三つ目のところでタワー
1:48:08	貫通を防止っていう形になっているんですけど、
1:48:11	この間の説明だと設計飛来物通過してきてるような気がしていてそもそも基本設計方針と合ってるんですよねとかっていうところを、一応会合でも聞いたつもりなので、
1:48:21	構造設計のところはどうこうできるレベルのことを言ってるのか、基本設計方針を変更しようとしてるのかどうか今現状わかっていないので、その辺りも整理して説明できるようにしていただければと思います。
1:48:35	はい。日本原燃の蝦名です。はい。まずは今日の議論を踏まえて、ちゃんとこの中で、そういったところも説明しなきゃいけないという説明できるものになってくんだということを理解してございます。

1:48:50	その上で竜巻防護ネットの状況だけご説明させていただきますが、防護ネットの考え方っていうのは、よりおっきな飛来物が直接ですね、防護対象設備に相当することを防止するような設計であると。
1:49:06	というのが実態事実でございます。これは発電炉と同様の思想になっているということも確認してございます。
1:49:14	一方で、と書いてる側の方ですね今の表現基本設計方針とあと、添付の方も含めてなんですけども、表現できているというふうに思っていました、
1:49:28	整理してみるとですね、そういったものが、今の記載に包絡されてるとは言えないような状況かなというふうに認識してございます。ここが表現が悪くて、非常に申し訳ございません。
1:49:42	で、そういったところをですね、共通 00 ちょっと修正するのかなと思ったんですけども、この共通 12 の中で、ちょっと今後議論させて、
1:49:52	いただければなというふうに感じたところでございます。はい。ご説明は以上です。
1:49:57	ちゃんと自立促したいんですけどすごい気になったんで1点だけ、砂利以上にでかいものもう防護対象にぶつからなければ、ネットを通過してもいいですっていうのが原燃の設計方針でしたっけ。
1:50:11	現状の表現はですねそういうふうに読めないところにはなってるんですがもともと設計した時の思想はそういったことだというのが、事実でございました。以上です。
1:50:25	長タジリです。読めない住めないし説明を受けたつもりもないので、ちゃんと説明してください。他のところも多分、進入角度を考慮してうちの方の図面とか見ると心拍を考慮してぶつからないんですけどっていうようなことをイメージしながら言われてる気がするんですけど。
1:50:41	今の説明するんだったらじゃ補助防護板とかって何のためにいたのかよくわかんないところいろいろ出てきちゃうような気がするんで、ぶつからないですよみたいな説明のところは頼りすぎると、後で大変にならないかなって気はするんで今後しっかりできるように、準備してください。自分からは以上です。
1:50:58	はい。日本原燃の海老名です。はい。そういった保護盤の立ち位置ですねそういったものを含めて今後、ご説明させていただきます。以上です。

1:51:10	古作です。
1:51:13	蝦名さんの説明だと、
1:51:15	基本設計方針を変更するような方向になるような気がしていて、そうすると、許可整合の関係からも問題になってきて、そうすると事業変更許可申請が必要なのではないかと。
1:51:29	というような気もしてきちゃうんですけどその辺り整理できてますか。
1:51:34	はい。日本原燃の蝦名です。はい。おっしゃる通り、そういうふうに繋がっていくものですので、そこはそうならないように、ちょっとこちらの方でも今ちょっと社内で検討を進めているところです。十分に整理で、
1:51:51	はできてませんが、はい、現状では、以上です。はい。社内の検討中ということなのであまり、
1:51:58	言いませんけど、
1:52:01	今の話は本末転倒で、
1:52:03	もともと許可のときに宣言をしたことですから、その宣言通りにやってくさいってというのが基本思想にあるはず。
1:52:11	ですんで、許可のときに間違っって説明しちゃいましたっていうのは間違っったならもう、それが正ですから、
1:52:18	嘘相当の、
1:52:21	対応をとっていただかないとと。
1:52:23	ということで、
1:52:26	また不適合管理みたいな話になっちゃうんですけど、
1:52:30	よく考えていただいて、本来であれば、ちゃんと許可通りやってくださいねということだと、いうふうに思ってます。それでちょっと話ん。
1:52:40	元に戻っちゃって申し訳ないんですけど、全体のアサカイの方のお話をし忘れたのがあって、
1:52:49	不適合管理というかその申請書府Bの点で、説明を今週中に出してしますとということだったと思うんですけどそれってどうなってるんですか。
1:53:02	日本原燃の藤江です。今作ってるスケジュールにも入れてはいますがまず現状の状態っていうのを、水曜日ぐらいに資料を提出させていただいて、ヒアリングセットさせていただきたいと思ってました。
1:53:17	コサクですそれはあれですか、不備の不備いっぱいあるんですけど、

1:53:21	これ全部包含しているってことですか。日本原燃藤江です。ちょっとまず対応が進んでいる耐震の部分から説明させていただいて、あと今やっている現状ですね、今後どうやっていくみたいな話も含めて、
1:53:34	1度説明させていただければなというふうに考えていました。
1:53:39	それはあれですか。
1:53:42	会合ではどこまでの説明をするつもりで今そういう状況でいいと思われてるんですか。
1:53:51	日本的な目です。
1:53:53	ちょっとあの会合まで自分、イメージしてくれない部分あるんですがまず耐震の部分からのタカハシです。始まってますので、耐震に関する部分それから
1:54:04	海、その他にもどういうものがあるってところをご紹介して、今後こうやっていきますっていう話ができるというふうに考えていました。
1:54:14	よくわからないんですけど、
1:54:16	前回会合で、3月には説明しますと言っておきながら、
1:54:21	まだ十分整理できてなくて3月も途中のお話ですって言われると、
1:54:27	前回の会合で家へ説明しますと言ったのは何なんだという気がしますけど、
1:54:35	我々が急ぐわけではないので、
1:54:40	結果ちゃんと是正して適切なもので、提示いただくまでは我々は認可しないというだけでは、
1:54:49	あるので、しっかりと、
1:54:52	ちゃんとしたものにしてください。
1:54:54	いっこの作業方針がわかるようにしていただければと思います。
1:55:00	すみません脱線しましたが、
1:55:02	衛藤元に戻すと、
1:55:07	今日は先ほど言ったようなところで整理を進めていってというところで、どっちの方向に、どう整理するのかよくわかりませんが、な、その整理の方向性に応じて適切に対応いただければと。
1:55:21	ます。
1:55:25	はい、小峰シミズです。了解いたしました。
1:55:31	規制庁清水です。他、規制庁側から確認向かいますでしょうか。

1:55:40	コサクですけど、ねん。あの、話を結構戻すってあれですけど、京都図の関係をちゃんと整理をしてっていうことがあったと思うんですけど、どういうふうになるようにされるおつもりでしょうか。
1:56:01	日本原燃清水です。
1:56:04	今表の中で、基本設計方針構造設計のところの説明の繋がりが、もうちょっと拡充しなきゃいけないのと、その繋がりを説明する中で、
1:56:17	そうなんですかね。
1:56:19	はい。
1:56:21	伴オオオカ議員。わかりました。はい。はい。すみません。藤仲井、はい。1件ありまして、
1:56:31	非ずの中でつけてる吹き出し。
1:56:35	ノート表がリンクするように、その吹き出しの中に表の番号なりのリンクづけをして、しっかりわかるように整理したいと思います。
1:56:43	はい。補足ですわかりました表の中では、構造設計のところには図版が振られているので、まずはそちらに、TDDゾーン図を見ると吹き出しの中にその番号が書いてあってと。
1:56:55	いうことでわかるようになるということですので理解をしましたよろしくお願ひします。
1:57:03	はい。
1:57:04	規制庁清水ほか2000セガワから確認ございますでしょうか。
1:57:10	規制庁浜崎ですちょっと中身については、今後いろいろと各ネットごとにお聞きするんですけども、共通の資料という形でちょっとお聞きしたいんですけども。
1:57:20	郵便のときには防護ネットを構築物という形で申請があってこちら審査したわけですけど、今回例えばG、だとかA4Aだとかについては同様というのわかるんですけども、
1:57:34	例えばABC2、建屋から指示を取ってるようなものについても同じこれ構築物の扱いになるんですか。
1:57:49	少々お待ちください。
1:58:00	はい。日本原燃清水シミズです。現状勢力構築物で整理してございます。
1:58:06	規制庁浜崎ですそうすると例えば、建屋に構築物を増設するという。
1:58:12	位置付けになると理解すればいいんですか。

1:58:24	今群の我々の整理だとそういう位置付けにありますますがちょっと中でしっかり検討したいと思う。
1:58:31	はい。規制庁浜崎です検討をお願いします。例えばこれ、厳格場の構築物申請をしているのかしてないのかとかいうところも関係してくると思いますので、
1:58:44	しっかりと回答の方をお願いします。後程でき、そのBCのスキーム。
1:58:50	で結構ですので、準備をお願いします。
1:58:54	はい、上下シミズ整備の方して、ご説明させていただきたいと思います。
1:58:58	はい。規制庁山崎です私から以上です。
1:59:04	じゃ、伏見です。他は規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:59:11	それでは人間側から振り返りとの今後のスケジュールについて説明の方をお願いします。
1:59:19	はい。うん志水です。まずは共通、12の資料の位置付けの方はまずは画面今日の資料で1回ご説明させていただきましたけども、共通12の目的の方ちょっと認識違いしてまして、まず対象設備をすべて明らかにした上で、
1:59:37	それらの設備に対して、新設構造に限定するのではなく、しっかり全般的に構造概要、評価会評価の方も見据えて構造概要の方をしっかりと説明する資料の方に、
1:59:49	位置付けの方をしっかりと見直したいと思っております。
1:59:54	それを踏まえまして、今出している資料の1ポツの表であったり、
2:00:01	2ポツの基本設計方針が足りてないところなりをしっかりと全般的に見直したいと思っております。あとは、2ポツの表については、しっかり条文要求基本設計方針、
2:00:14	さらに基本設計方針を展開した添付書類要員内容、
2:00:18	それを具体的にどういう設計コンセプトで、設計してるのかっていう内容ですねちゃんと繋がりを持ってご説明できるように、表の方を見直すというのと、
2:00:28	図と表の関係づけということで、図の中の吹き出しの中で、表のだ等の番号の、補足になるのかっていうのが説明になるのかっていうのを、繋がりがわかるように見直したいというふうに考えております。

2:00:42	スケジュールの方ですけどももとのスケジュールの方で、明日他の設備も出しますということを宣言していたんですけども、
2:00:50	今な、今日のヒアリングでですねもとの資料の位置付けをしっかりと考え直さなければいけないということがありますので、
2:00:59	そこの位置付けの見直しと、この2ボツの表を具体的にどう整理するんだというものをですねちょっと練った竜巻を例にですね、ブラッシュアップしたものを、
2:01:11	一度ちょっと早い時期、すいませんちょっとスケジュールはちょっと持ち帰って検討しますけども、お示しした上で、修正の方向性をご説明させていただいて、他の条文の方にちょっと展開して、作業の方進めたいと思っておりますので、ちょっとスケジュールの方は、検討させていただきたいと思います。
2:01:32	はい。規制庁清水です。
2:01:35	しましたと。
2:01:38	全体通して規制庁側から何か学にございますでしょうか。
2:01:44	古作です。ちょっと
2:01:47	もう、
2:01:48	再話をしたことをもう一度繰り返すようで申し訳ないんですけど、
2:01:54	6ページの表の意味合いなんですけど、
2:01:58	共通13で整理をするというリストがある上で、さらにここにリストが入る意味っていうのは、
2:02:07	何かっていうと、
2:02:13	一番上の欄でいうと共通12という、
2:02:18	追記しているもので
2:02:21	どれを代表にしてどこで説明してますよっていうのを追記したっていうのが、
2:02:26	ここでの、
2:02:28	意味合いですかね。
2:02:31	石井です。阿比留シミズです。はい。おっしゃっていただいた通り今、
2:02:36	主要部で説明するニジュウマルと、この構造説明の項目のどこに、それぞれの機器が該当するのかっていう項目を足したのがこの表の意味合いでございます。
2:02:49	はい。補足です。そうすると、これで、

2:02:54	この部分はここで説明含ましてますよというもノーも含めて、要求事項とか基本設計方針とかってというのは、網羅して入れていくという理解でいいですよ。
2:03:09	はい。日本原燃志水です。はいその認識のもとちょっと資料の方ブラッシュアップしたいと思います。
2:03:15	はい。よろしくお願いします。古作です。磯野ランドの書き方でちょっとよくわかんないのが、一番上で見ると、2-1-1云々って書いてあるのは、
2:03:27	あの場所を説明してるっていいんですけど、その左の1234って書いてあったりするので、これ何ですか。
2:03:36	日本原燃シミズすみませんちょっと資料全体的にまだできてなかったんですけども、最終的には、
2:03:43	このところ、
2:03:46	ちょっと押田さん。
2:03:48	この分類を、通し番号をつけて八条の一番の分類はこの形ですよっていうのをちょっとわかるようにしちゃったんですが、すいません今ちょっと見て番号がちょっとおかしくなっているのがありますのでちょっとそこら辺整理したいと思います。
2:04:06	はい、わかりましたよろしくお願いします。
2:04:13	支店長、清水です。岡先生を通して規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:04:22	原燃側はよろしいでしょうか。
2:04:27	はい。日本原燃側、特にはございません。
2:04:31	これで本日はヒアリングを終了したいと思いますので録音を停止します。